

# 74 膵・消化管神経内分泌腫瘍

※ レジメン名称を **クリック** または **Ctrl + クリック** してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“**現在のページを印刷する**”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名 称	備考
1	共通	74001-1A	<a href="#">ストレプトゾシン療法(5日間連日投与)</a>	
2	共通	74002-1A	<a href="#">(1000mg/m<sup>2</sup>)ストレプトゾシン(1週間間隔投与)療法</a>	
3	共通	74002-2A	<a href="#">(1250mg/m<sup>2</sup>)ストレプトゾシン(1週間間隔投与)療法</a>	
4	共通	74002-3A	<a href="#">(1500mg/m<sup>2</sup>)ストレプトゾシン(1週間間隔投与)療法</a>	
5	科別(消内)	74003-1B	<a href="#">VP-16+CDDP 療法 (膵・消化管神経内分泌)</a>	
6	科別(消内)	74004-1B	<a href="#">CPT-11+CDDP 療法 (膵・消化管神経内分泌)</a>	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				

※ レジメン名称を **クリック** または **Ctrl + クリック** してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“**現在のページを印刷する**”を選んでください。

74001

膵・消化管  
神経内分泌腫瘍ストレプトゾシン療法  
(5日間連日投与)

申請科

消化器

H28.5 登録 H30.10 改訂 R2.3 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
ザノサー (streptozocin)	500mg/m <sup>2</sup>	div (30分)	day1~5 6週毎

6週毎(5日間連日投与、37日間休薬)

可能な限り継続

NET G1/G2(2010年WHO分類)に分類される切除不能又は遠隔転移を有する膵・消化器NETに適応

## Regimen

内服	アプレピタントカプセルを併用する。 day1は125mg day2、3は80mgを内服		
2時間	<b>day1</b> メイン①生理食塩液 500mL 1B		
30分	メイン②グラニセトロン点滴静注バッグ1mg 1B デキサート注 6.6mg 1A デキサート注 1.65mg 2A		
30分	側①生理食塩液 100mL 1B ザノサー ( ) mg		
1時間	側②生理食塩液 250mL 1B	<b>備 考</b>	
2時間	<b>day2~5</b> メイン①生理食塩液 500mL 1B	<推奨制吐剤>現行に追加 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~6 ・オランザピンOD錠は内服処方オーダー ・オランザピンOD錠は最大6日間の投与を目安 ・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌	
30分	メイン②グラニセトロン点滴静注バッグ1mg 1B デキサート注 6.6mg 1A		
30分	側①生理食塩液 100mL 1B ザノサー ( ) mg		
1時間	側②生理食塩液 250mL 1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 74001-1A ストレプトゾシン療法(5日間連日投与) ・アプレピタントは処方オーダー	

74002

膵・消化管  
神経内分泌腫瘍ストレプトゾシン  
(1週間間隔投与)療法

申請科

消化器

H28.8 登録 H30.10 改訂 R2.3 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ザノサー (streptozocin)	1000~1500mg/m <sup>2</sup>	div (30分)	day1

1週毎 可能な限り継続

1回量は 1500mg/m<sup>2</sup>を超えないこと

NET G1/G2(2010年WHO分類)に分類される切除不能又は遠隔転移を有する膵・消化器NETに適応

化療ベッド予約:4時間で登録

## Regimen

内服	アプレピタントカプセル、デカドロン錠を併用する。 アプレピタントカプセル day1は125mg day2、3は80mg を内服 デカドロン錠 day2~4は8mg/日を内服			
		備考		
		・1回 1000mg/m <sup>2</sup> で投与を開始し、12週目までの忍容性が良好な場合には、1回 1250mg/m <sup>2</sup> に増量することができる。さらに18週目までの忍容性が認められる場合には、最大1回 1500mg/m <sup>2</sup> まで増量することができる。		
2時間	day1 メイン①生理食塩液 500mL 1B	<推奨制吐剤>現行に追加 オランザピン OD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4		
30分	メイン②グラニセトロン点滴静注バッグ1mg デキサート注 6.6mg 1A デキサート注 1.65mg 2A	・オランザピンOD錠は内服処方オーダー ・オランザピン OD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌		
30分	側①生理食塩液 100mL 1B ザノサー ( )mg	【レジメンシステム登録】 74002-1A (1000mg/m <sup>2</sup> )ストレプトゾシン (1週間間隔投与)療法		
1時間	側②生理食塩液 250mL 1B	・ザノサー投与量 1000mg/m <sup>2</sup> で登録 ・アプレピタント、デカドロンは処方オーダー 74002-2A (1250mg/m <sup>2</sup> )ストレプトゾシン (1週間間隔投与)療法 ・ザノサー投与量 1250mg/m <sup>2</sup> で登録 ・アプレピタント、デカドロンは処方オーダー 74002-3A (1500mg/m <sup>2</sup> )ストレプトゾシン (1週間間隔投与)療法 ・ザノサー投与量 1500mg/m <sup>2</sup> で登録 ・アプレピタント、デカドロンは処方オーダー		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科	
74003-1B	科別	膵・消化管 神経内分泌腫瘍	<u>VP-16+CDDP 療法</u> <u>(膵・消化管神経内分泌)</u>	消化器内科	
適応患者					
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ (まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )			
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間					
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)		
エトポシド (Etoposide)	100mg/m <sup>2</sup>	div. (90分)	day1, 2, 3		
シスプラチン (Cisplatin)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (2h)	day1		
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎	化療ベット予約:	時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr				
レジメン					
投与時間	投与日及び投与ルート				
内服 90分 30分 90分 30分 90分 30分 30分 90分 2時間 90分	アプレビタントカプセルを併用する。 day1 アプレビタントカプセル125mg 化学療法前 1回 day2, 3 アプレビタントカプセル80mg 分1 朝食後  <b>day1</b> メイン①ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A 側①生理食塩液 500mL 1B エトポシド注 ( )mg 側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6. 6mg 1V メイン②ヘパリンNa ロック用(100単位/mL) 10mL 1本  デキサート注 6. 6mg 1V デキサート注 1. 65mg 2A 側①生理食塩液 500mL 1B エトポシド注 ( )mg 側②パロノセトロン点滴静注バッグ0. 75mg 1B メイン③生理食塩液 500mL 1B メイン④マンニットールS 300mL 1B 側③生理食塩液 500mL 1B シスプラチン注 ( )mg 側④ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A メイン⑤ヘパリンNa ロック用(100単位/mL) 10mL 1本	90分	day2, 3 メイン①ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A 側①生理食塩液 500mL 1B エトポシド注 ( )mg 側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6. 6mg 1V メイン②ヘパリンNa ロック用(100単位/mL) 10mL 1本		
			90分		
			30分		
				備 考	
				<推奨制吐剤>現行に追加 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4 ・オランザピンOD錠は内服処方オーダー ・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌	
				【レジメンシステム登録】	
				74003-1B VP-16+CDDP 療法 (膵・消化管神経内分泌) ・1クール3週間で登録 ・アプレビタントはレジメン内の処方に登録	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
74004-1B	科別	膵・消化管 神経内分泌腫瘍	<u>CPT-11+CDDP 療法</u> <u>(膵・消化管神経内分泌)</u>	消化器内科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
イリノテカン (Irinotecan)	60mg/m <sup>2</sup>	div. (90分)	day1, 8, 15	
シスプラチン (Cisplatin)	60mg/m <sup>2</sup>	div. (2h)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎	化療ペット予約:	時間で登録	
Radiation 併用 無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	<span style="color: red;">day1</span> <span style="color: red;">day2, 3</span> <span style="color: red;">day8, 15</span>		
内服	アプレビタントカプセルを併用する。 day1 アプレビタントカプセル125mg 化学療法前 1回 day2, 3 アプレビタントカプセル80mg分1朝食後		90分	メイン①ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A
	30分		メイン②生理食塩液 100mL 1B デキサート注6. 6mg 1V	
90分	90分		メイン③ポタコールR 500mL 1B	
	90分		メイン④ポタコールR 500mL 1B メイン⑤ヘパリンNa ロック用(100単位/mL) 10mL 1本	
30分	メイ <sup>ン</sup> ①ソルデム3A 500mL 1B メイ <sup>ン</sup> ②パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V デキサート注1. 65mg 2A		30分	メイ <sup>ン</sup> ①グラニセトロン点滴静注バッグ1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V
	90分		側①生理食塩液 500mL 1B イリノテカン ( )mg	90分
90分	側②生理食塩液 500mL 1B		5分	側②生理食塩液 50mL 1B
	メイ <sup>ン</sup> ③マンニットールS300mL 1B			
2時間	側③生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ( )mg			<推奨制吐剤>現行に追加 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4 ・オランザピンOD錠は内服処方オーダー
	側④ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A メイン⑧ヘパリンNa ロック用(100単位/mL) 10mL 1本		・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌	
【レジメンシステム登録】				
74004-1B CPT-11+CDDP 療法 (膵・消化管神経内分泌) ・アプレビタントはレジメン内の処方に登録				